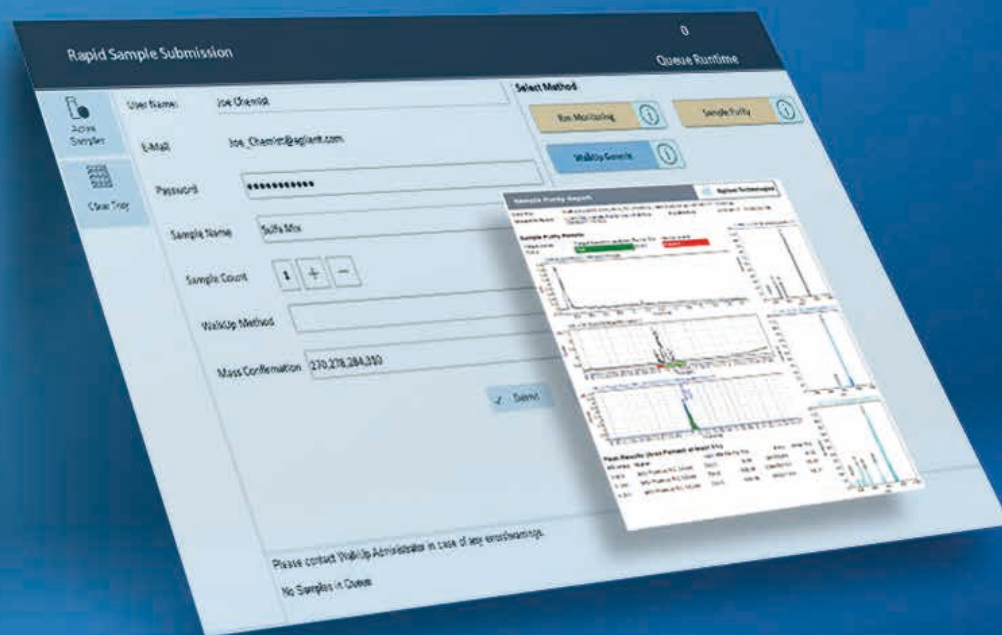


Agilent MassHunter WalkUp ソフトウェア

LC/MS を使いこなすためのソフトウェア





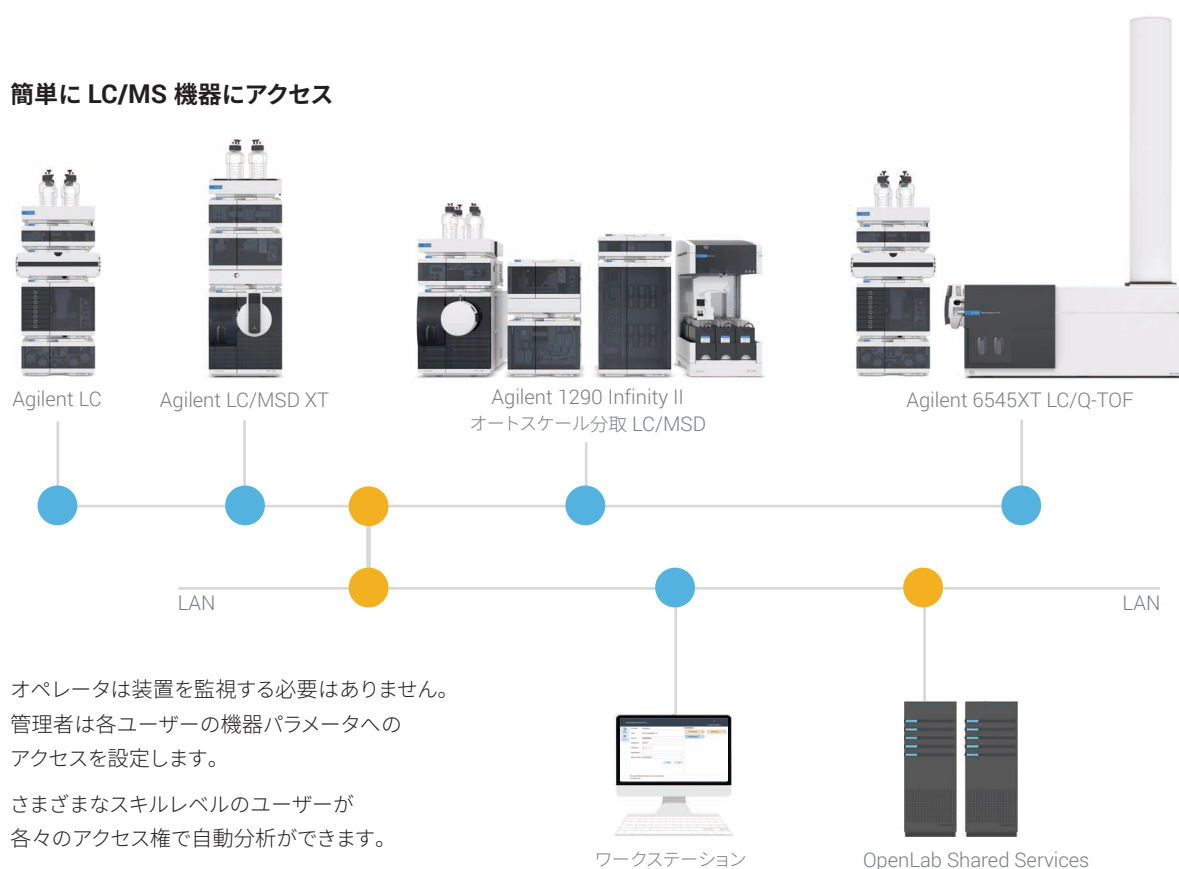
生産性を向上させるソフトウェアの設計

誰でも簡単に LC や LC/MS を意識せずにデータ測定

Agilent MassHunter WalkUp ソフトウェアによって、さまざまなスキルレベルのユーザーが自動化されたワークフローに従って LC および LC/MS の分析が行えます。必要な操作は、サンプルに関する最低限の情報を入力し、メソッドを選択して、ソフトウェアが指示する LC のポジションにサンプルを配置するだけです。測定結果は自動的に電子メールで送信されます。

また、機器パラメータへのアクセス権を制限可能です。高コストのダウンタイムにつながるエラーを低減することができます。さらに、Agilent MassHunter WalkUp ソフトウェアの利点は、質量分析計を使用しない Agilent HPLC システムのワークフローでも発揮されます。このため、ラボのあらゆるユーザーが日常的な LC 分析を簡単に行うことができるようになります。

簡単に LC/MS 機器にアクセス

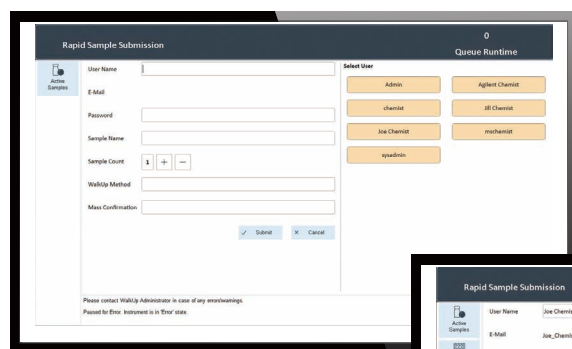


シンプルで便利なサンプルサブミット画面

MassHunter WalkUp ソフトウェアは、次の 4 ステップの操作で簡単にサンプルをサブミット（測定）することができます。

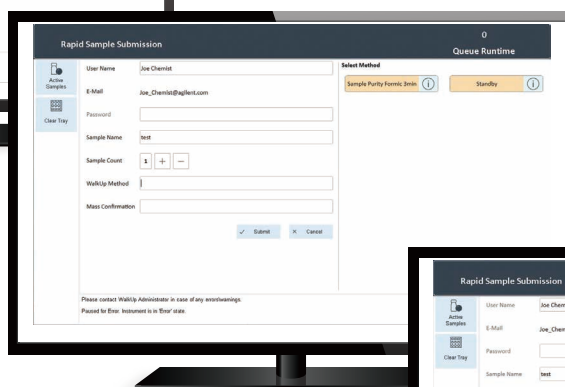
1.ログイン

ユーザー名、パスワード（オプション）、ワークフロー、サンプルの数を入力します。



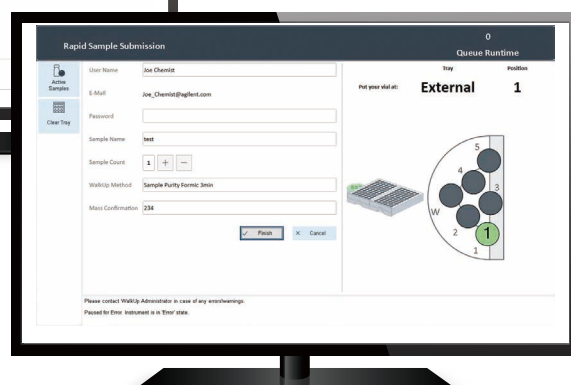
2.メソッドの選択

サンプルの詳細を入力し、メソッドリストから測定で使用するメソッドを選択します。



3.サンプルのセット

サンプルを WalkUp ソフトウェアが指定する所定の場所（LC のバイアル番号の位置）に配置します。

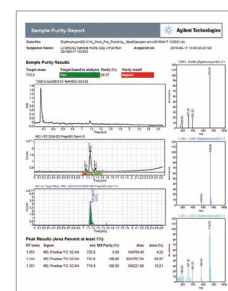
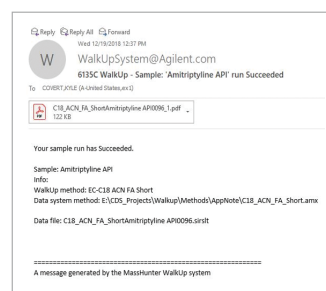


あとはソフトウェアが自動的に処理し、測定を行います。WalkUp がサンプルをキューに追加し、分析を実行して、レポートをユーザーに送信します。分析対象化合物の検出の有無や、検出された場合にはその推定純度が示されます。

また、レポートをカスタマイズして、レポートに情報を追加することもできます。例えば、不純物が検出された場合は、その不純物の質量スペクトルを記載することもできます。

4.レポートの受信

PDF、ASR、Excel などの形式を選択します。





ラボの生産性がすぐに向上

LC/MS のエキスパートがルーチンのサンプルを分析するよりも、それぞれのユーザーが自分自身で質量分析計を用いてルーチンのサンプルを測定、精製、またはペプチド配列を確認する方が効率的です。

Agilent MassHunter WalkUp ソフトウェアならそれが叶います。ユーザーが各自でルーチンの分析結果を得られるようになれば、LC/MS のエキスパートはその分、分析困難なサンプルに時間を費やすことができます。

MassHunter WalkUp ソフトウェアがあれば、エキスパートは以下の操作を簡単に実行できます。

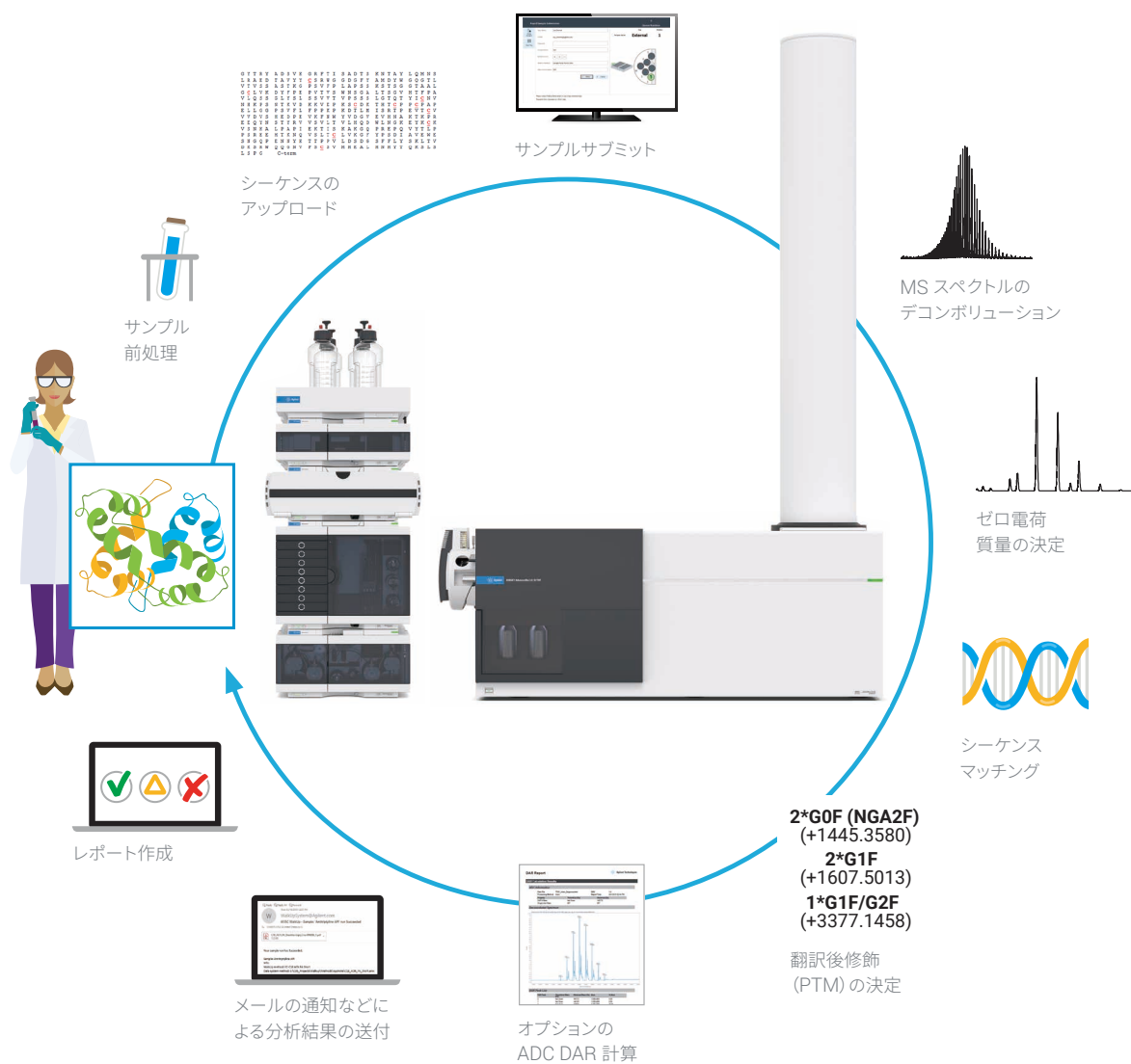
- － ユーザーの追加、削除、管理
- － サンプルスループットを最大化するキューの優先順位や偏りのないユーザーアクセスの設定
- － 平衡化時間や移動相の変更などのパラメータ設定により、安全なメソッド切り換えを実行
- － サンプル名の設定およびデータ保存方法の割り当て
- － システムチェック、起動手順、洗浄といった日常的タスクのスケジュール設定
- － システムの問題に関する電子メール/テキストによる通知の受理と、必要に応じた遠隔操作による機器のオフライン化

高分解能精密質量 LC/MS の機能を最大化



MassHunter WalkUp ソフトウェアと LC/TOF および LC/Q-TOF 機器を活用することで、ラボの能力を最大限に引き出すことができます。

例えば、タンパク質を合成する生物学者なら、低分子分析と同じアプローチを用いて、インタクトタンパク質を自動的に確認し、アミノ酸配列カバーマップを得ることが可能です。WalkUp ならこれらはすべて、日常的な低分子分析と同じような操作で行えます。



ラボの外からシステム管理が可能



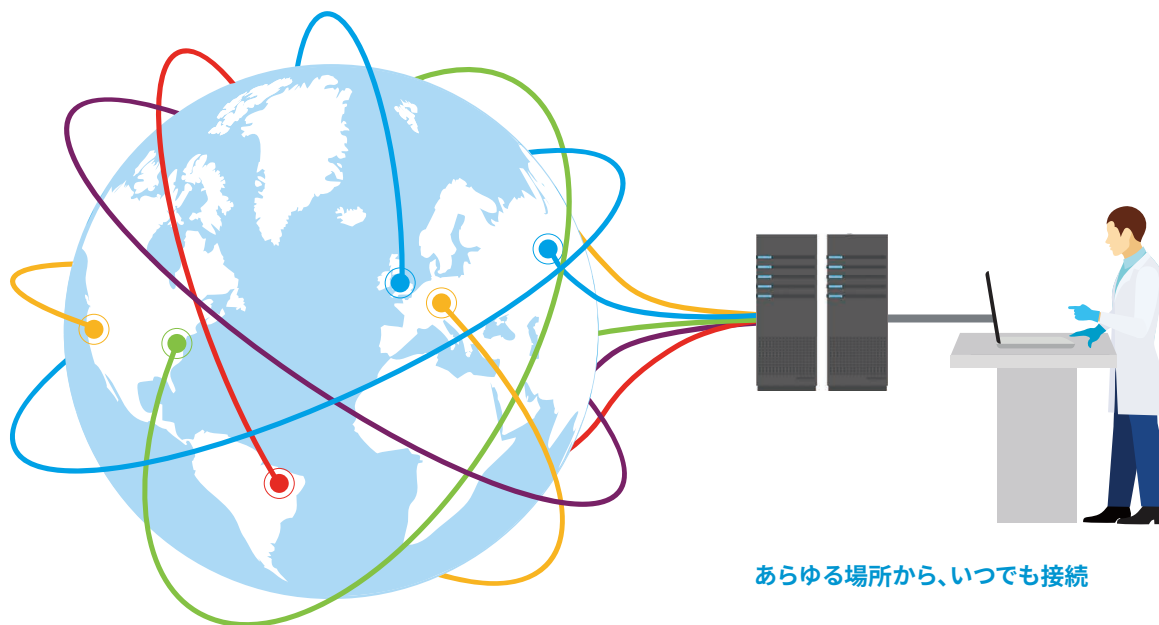
MassHunter WalkUp ソフトウェアは、数人の分析者が 1 つの装置を使用するラボの管理から、数百人規模のユーザーが多数の装置を使用するラボの管理まで対応できる、柔軟性の高いソリューションです。

Agilent OpenLab Shared Services サーバーとともに使用することで、どこからでも機器にアクセスし、管理できます。ラボにいらなくても、システムのエラーを認識して対処したり、システムをオフラインにしたりすることもできます。さらに、ユーザーを追加してキュー順序を一度修正するだけで、変更内容をシステム全体に適用することができます。このように、管理者がどこにいても、ラボにかつてないほどの生産性の向上をもたらすことができます。

お客様の声

「WalkUp ソフトウェアは分析測定の心臓部とも言えます。LC/MS 分析全体の 98 % 以上に対応しているのですから。このような高い生産性を実現するには、高度な設定が可能なソフトウェアが不可欠です。経験が浅いユーザーでも使いやすく、誤操作からの回復が容易でなければなりません。MassHunter WalkUp ソフトウェアの設計はこれらの要素を満たしています。」

— 大手製薬会社 分析責任者



あらゆる場所から、いつでも接続

あらゆる分析の 自動化をサポート



MassHunter WalkUp ソフトウェアは、医薬品化学、創薬、化学研究などでの分野でのワークフローをサポートします。継続的なシステム動作を確保するための機能を搭載しています。

ワークフロー例：MassHunter WalkUp ソフトウェアはケミストを合成にフォーカスさせることが可能

課題

新たな化合物を生み出す合成有機化学者の多くは、質量分析の経験がほとんどありません。そうした化学者が必要とするのは、合成したサンプルが確信を持って次のステップに進められるかどうかの情報を得ることと、測定完了時に通知を受け取ることです。また多くの場合、化合物の合成、純度、収率も確認しなければなりません。これらの情報は、ターゲット化合物の開発を次のステップに進めてよいか適切な判断を下すための材料となります。

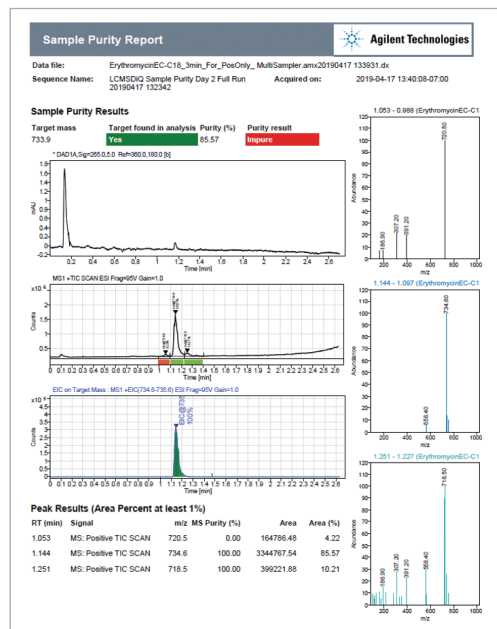
また多くのラボでは、多数の LC/MS システムを使用し、ハイスループットで分子量の確認に対応できるようにシステムを設定しています。迅速に結果を手に入れたい医薬品化学者は、まず分析に利用できる機器を見つけなければなりません。

解決方法

MassHunter WalkUp ソフトウェアなら、ネットワークのどこからでも各機器のステータスを確認し、最適な機器を迅速に選択することができます。

機器を見つけたら遠隔操作で、または機器のある場所まで行ってサンプルをサブミットします。それから、ログインしてサンプル情報を入力し、リストからメソッドを割り当てただけです。その後、ソフトウェアがサンプルを配置する場所を指示します。測定が完了すると、ターゲット化合物に関する必要な情報がすべて記載されたレポートが送信されます。

設定は簡単で直観的です。



サンプルをサブミットして分析が終了したら、分析レポートが電子メールで送信されます。

Agilent CrossLab サービス

Agilent CrossLab は、サービスと消耗品を統合してワークフローをサポートし、お客様の生産性の向上や運用の効率化などの重要な成果を実現するための機能です。アジレントは CrossLab を通じてあらゆる場面で「見えない価値」を提供し、お客様の目標達成を支援します。CrossLab サービスには、メソッドの最適化、柔軟なサービスプラン、あらゆるスキルレベル向けのトレーニングが含まれています。またお客様が機器やラボを管理して最高の性能を実現できるように、その他の製品やサービスも多数ご用意しています。

Agilent CrossLab の詳細と、見えない価値から優れた成果を生み出す例については、ホームページをご覧ください。



ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2020
Printed in Japan, March 25, 2020
5991-3836JAJP
DE.6466203704

